

江夏猛史氏に学ぶ減災対策 講演会のお知らせ

近いうちに必ず発生すると言われている南海トラフ地震。その時、自分がとろうとしている行動は本当に有効なのでしょうか？地震の専門家は「揺れ」に対する学術的な知見は与えてくれますが、実際に自分の命を守る方法を具体的に教えてはくれません。もし、隠れている机の上を、天井が直撃したら？天井の真下でダンゴムシのポーズをとって、命が守れるのでしょうか。

今回、“めばえ”でお話ししてくださる江夏猛史氏は、地震による被害を減らすため、現実的で理に適った減災対策を広める活動を全国的にされています。その活動は新聞などメディアでも多数取り上げられ、若草幼稚園でも何度もお世話になっています。興味のある方は、ぜひご参加ください。

日時：11月17日（木）10時15分～11時30分

内容：「避難訓練 2.0 みんなの命を守る防災教育」

講師：NPO 法人減災教育普及協会 江夏猛史氏

URL：<https://gensai.or.jp/>

場所：はとぐみ

*この日の“めばえ”は、講演会となります。

以前、若草幼稚園でお話を聞かれた方々の感想を紹介いたします（一部抜粋）

○先生のお話をお聴きして、地震がきたら反射的にダンゴムシのポーズをとる子どもたちを想像して恐ろしくなりました。その場でどんな被害がでそうか考える子になれるよう家の中や近所を歩いている時に一緒に考えていきたいと思いました。

○この講演のお知らせを見て「こうすれば守れます」というような話なのかな、と正直思っていました。しかし、もうそこから大きな間違いだったのだなと、まさに目からウロコでした。私は東日本大震災の際、東京におり5強程の揺れを経験しました。先生が言うように、強い揺れの際は普通に歩くのは難しく、上に危ないものがないかを確認しながら安全スペースを探していた自分を思い出しました。「頭を守って」と言われて、ただ頭に手を置いていた自分が今思うと恥ずかしいです。地震の際の行動、備える行動の両方をしっかり考えるきっかけとなるようなお話でした。常日頃からの行動が自分を、家族を守る事につながるという事を頭において、行動するべきだなと反省しました。

○わが子を守るのは親だということ痛感しました！「減災」について、もっと勉強したいと思います。定期的に講演会があれば嬉しいです。知らないといけない事や、気付かないといけない事がまだまだあると思いました。またの機会をよろしく願います。

○今まで地震がきたら頭を守るという事を、当たり前のように体にしみついていましたが、そうではないと気づかされ、まさに目からウロコ！！“何が起きるかで逃げ方が決まる”本当にそうだと思います。また、避難所の場所は知っているけれど、どんな所か？と考えた事がなく・・・そして“子どもたちにとって先生は親”。どきとした言葉でした。気づきを行動に移すのは難しいですが、まずは家の環境を見直してみようと思います。後、防災グッズも見直してみます。ありがとうございました。

○目から鱗の内容でした。何より、自分（親）の無知が人災（子ども）につながるという事・・・ヤバい！と思いました。「過去の経験」や「これまでの常識」は通用しない！アップデートしながら、最新（最良）のデータを取り入れたいと思います。

**また、若草幼稚園で実施している地震揺れ体験を紹介した動画が
減災教育普及協会から配信されています。
右のQRコードから視聴ください。**

